

令和4年度山梨県中小企業・小規模企業振興会議地域部会の主な意見

1 地域における中小企業・小規模企業の振興について

【4】事業承継の円滑化

後継者不足が深刻。廃業せざるを得ない事業者が多い。

第三者承継(M&A)に特化した支援が必要。

認定支援機関の伴走支援による承継実行が必要。

【6】人材の育成・確保

人手不足・人材不足が常に課題。

仕事があってもマンパワー不足で、事業の先細りが懸念。

東京や神奈川への通勤が容易な地域では、首都圏方面の就業指向が強い。

多くの求人はあるが、雇用に結びつかない。

就職希望者にミスマッチが起きている。

雇用環境体制を整えるバックアップが必要。

従業員の生産性向上を図る必要がある。IT 導入等への支援策が必要。

【8】中小企業・小規模企業の持続的な発展

原油・原材料高、円安、材料不足への対応が必要。

小規模事業者は簡単に価格転嫁ができないため、助成や補助が必要。

事業相談窓口の設置だけでなく、伴走型支援が必要。

事業支援メニューの充実により、商工団体のマンパワーが圧倒的に不足。支援体制強化が必要。

各種支援金制度は、手続きが煩雑で難しい。事業者目線の使い易い制度設計が必要。

コロナ関連融資の返済が迫っており、返済困難企業への対応施策が必要。

2 良質な雇用の確保に向けた課題と、求められる施策について

小・中学校時代に、ものづくり原体験が出来る環境整備。

地元企業の魅力を発信。併せて親御さんに企業を知ってもらう必要がある。

企業の働き方改革等による、魅力ある労働環境整備を推奨する施策。

企業のDXを推進する人材の育成。

外国人労働者の雇用ができる環境づくり。